

株式会社 地域環境計画  
http://www.chiikan.co.jp

逸見 一郎 henmi@chiikan.co.jp

株式会社  
**地域環境  
計画**  
生きものと共生する  
地域づくり人づくり  
ちいかん

### 1. 現場主義の自然環境調査

株式会社地域環境計画は、1981年に「有限会社地域環境計画コンサルタント」という社名で設立されました。当時は、やっと「閣議アセス」が盛んに行われるようになった頃です。私たちは、営業エリアは当初から自然と全国で活動したいと考えていたので、現場は、同業者も少ないためか本州一円の広い範囲に及び、十分に経験が無い地域にも調査に行くことがありました。そこで培われていったのが現場主義です。新たな現場に入るとき、何十年もそこで研究している方や大家の書いた地域の自然環境の特性の論文の現場を、自分の目で見ると本当なのか確かめる、別の見方が無いか考える。先達の研究者の執筆を鵜呑みにせず、よそ者の視点で、この土地の自然の特性を保全するには、どこが保全上重要なエリアであるか、事業計画はどうあるべきか考えながら調査を行い、現場で自分たちが見たことから「ものを言う」という現場主義にこだわって来ました。一方、謙虚に研究の先達の成果を受け止め、全国の研究者の方々と、同じ目線・志を持つ者として認めていただけるように、本学会をはじめ関連する学会の活動を重視して参画を心掛けて来ました。

### 2. 生きものと共生する地域づくりを目指して

そもそも、自然環境調査を中心に営業する私たちが「地域環境計画」と名乗っているのは、自然環境保全は、地域づくりという土俵の上で行ってこそ実現すると考えていたからです。開発事業のあり方も、自然環境保全のあり方も、その地域の持続可能な地域づくりの姿を皆で考えるという土俵の上で検討してこそ事業が最適化されるという考えです。場合によっては自然保護団体から開発者・自然破壊者の手先と誹謗中傷されることもありましたが、私たちは「現場主義でものを言い続ける」ことで世の中の仕組みが変わってくると信じて会社を発展させることに努めて来ました。

### 3. 会社の転機となったビオトープ計画と GIS

そのような状況の中で1990年ごろから、地球環境開発サミット、生物多様性条約などにより条約・法律・条令などが大きく変化してゆき、当社もさまざまなご縁で変化することになりました。きっかけは、当時の住宅都市整備公団の大阪高槻市阿武山団地の上の池公園ビオトープのモニタリングに係わったことです。私がお大阪支社長をしていた時にご縁でこの業務に関わり、その後、試験場のビオトープや各団地のビオトープ計画やモニタリングに係わることとなりました。ビ

表-1 会社概要と連絡先

所在地	東京都世田谷区桜新町 2-22-3 NDS ビル
創業年	1981年(昭和56年)
資本金	10,000,000円
社員数	94名 平成26年10月20日現在
支社	札幌、仙台、東京、名古屋、高槻、福岡
営業内容	自然環境調査・アセスメント、自然環境の保全・復元・創出の調査・計画、鳥獣害対策等
連絡先	TEL 03-5450-3700(本社代表)

オトープの取り組みは、「生きものと共生する地域づくり」の中心となると考え、専門部署も立ちあげ全社で取り組んで行きました。また、このころにあるご縁からGISの技術と出会い、地域づくりのランドデザインを行うためには、自然環境の特性を「デジタル地図上で見える化」することが必要不可欠と考え、とことん突き詰めてゆくことにしました。これらの取り組みを深めていったことをきっかけに、大手ゼネコンや大手デベロッパー、大手メーカーの皆様のビオトープ事業にも数多くかかわることになりました。さらに、国交省の当時の土木研究所(現在の国総研)のビオトープ・ミティゲーション・エコロードなどの研究パイロットプロジェクト、自然環境に配慮した道路緑化、環境省のサロベツ湿原自然再生事業はじめ各地の自然再生事業・全国の現存植生図作成・ツシマヤマメコノ域内保全事業などの希少種保全事業・国立公園や世界自然遺産の保全・管理計画の見直し、林野庁の鳥獣保護区や保護林の計画の見直しなど、北海道から沖縄まで、先進的な「生き物と共生する地域づくり」に関わる多くの事業を行うことになってゆきました。これらの業務と自然環境調査・アセスメントを両輪の輪として、自然環境を専門とする会社としては全国有数の規模の会社に発展しました。さらに、近年深刻化する鳥獣被害対策コンサルと同用品販売のポータルサイト、環境商材販売の部署も立ち上げました。

### 4. 生物多様性地域戦略を持続可能な地域づくりの土台に

現在、力を入れているのは生物多様性地域戦略の策定業務です。これは、決して希少種保全計画ではなく、持続可能な地域づくりの土台そのものだからです。これまでに、その視点で京都市、千代田区、浜松市、あきる野市などの策定を行いました。現在も複数の自治体の策定を行っています。30年以上の年月を経て「地域環境計画」の名にふさわしい業務に係わることが出来るようになりました。これからも、社会貢献が出来るように努力してゆきたいと思います。